

刊夕日一月五



定価一冊五錢... 発行所 常盤屋日新聞株式会社

四ツ倉町構成の一面観 (一)

於舊城跡 山口彌一郎

地方にあるその地方の中心をなす町は、どうしてこの町が出来たのかと發達の方面を研究する事も大切か、は知れないが發生の原因が何れにあるにせよ現在その町が成り立つてゐるにしてはそれだけの支持力がなければならぬ。

町を研究する人は町の中にもげつて終つてはならぬと思ふ。平町と限定された境界内のみを研究する事によつては平町の生命は握めなかに違ひない。

例へ町の現在の姿を観るにしても何によつてこの町が支へられるかの反影を探し出さうとしないでは眞の町の姿を観たとは言ひ得ないであらう。かく観ると平町の研究は容易な事ではない。又それだけ慎重な研究をしなければならぬとも言ひ得る事になる。

こゝには四ツ倉を或る一方から調査した觀察の一端を述べてみる。

四ツ倉町に似てゐるものに久ノ濱町、豊間村、小名濱町、大津町がある。どれも孤状をなした低い砂丘の

北端に孤状の街の形をなし背後に低い山地を負ひ、街の先端に船着場をもち、道路に沿つて細長く發達してゐる。

何れも海に付き漁業を持つてはゐるが、その町凡てが漁業に依つて支へられてゐると断じてはいけぬと思ふ。むしろ漁業のみに依つて支へられてゐると言ひ度いのは平瀧町、江名町の様な背後に崖をもち、船着場の周圍のみ狭苦しく發達した他の町の型に就いてある。

數年前からこれ等の町を如何なる方法に依つて調べ上げたかその姿がはつきりするかを考へてゐた。そして昨年の春から一先づ次の様な方法で手を付けてみた。勿論手を付けたと言ふ範圍を出ないものでこれが最上乃至唯一の方法と思つてゐるのではない。仕事も途中にあるが四ツ倉町の部分を引き出して見て實際の地方の人の教を受け度いと思ふ。

約一八〇〇米の新舞子の方から續いた砂丘の上の街並みに四ツ倉の殆んど凡て

が含まれてゐるものとみて一〇〇米づゝ區分し、兩側併せて二〇〇米を單位とみ

土地區劃その他の種々な事情があるにせよ、最も賣れる場所に出るべく出来、最も便利な場所に家を建てるのは人間の通有性であらうから、その反影を街並にあらはれてゐるものとし、二〇〇米の單位内に家屋が幾らあつて、その中の幾らが店の間口となつてゐるか、即ち家屋及び店舗の密度を實測してみた。勿論盛んな店も賣上の少ない店もあらう。それは此の際平均して同じにみる。間を米に換算し多くは建物の間敷を目測したので少々の誤差はあるが現れた數は次の如くである。



花吹雪

鈴木保夫

一、今日爛漫の花の色
ぬらす灯かげにひら／＼と
舞ふは蝴蝶か白雪か
しばしはやまじ花吹雪
二、手をさし延べて散る花
受けし心の淋しさよ
はかなく去りし戀ゆえ
に

せめてぬれましよ花吹雪
三、いつそ雪なら消えよも
握れど消えつ花の雪
つれなき風にさそはれ
四、降るは降る降る花吹雪
言をしのぶ艶櫻
飄々と散る花吹雪
彼女の頬の花の色
せめてこよひの夢にな
れ

花環
花籠
蓮華
造花
新らしく安い
靈柩自動車御用
町川新町平
屋本橋
番三六一話電

時は春!
お寫し遊ばせ!
皆様の良い寫眞館

サクラ寫眞館
平町田町(驛前)
◎最新式電氣應用 晝夜撮影
博覽會開期中
特別割引致シマス

美味 滋養
松本の 洋生菜子
ヤトモツマ
番四一二電日丁四平

祝昭和産業博覽會
大衆奉仕を念願とし
中間層の御相手として
存立意義
一〇〇パーセントの
マルトモ食堂
階下 椅子 席も
新設いたしました
簡単に經濟にと常に心
掛けて居ります
御歸
博覽會の
りには是非御立寄を
從業員奨励として
御茶代一割主義標榜
其他絶対御心附は戴き
ません

マルトモ食堂
平町四丁目
電話一三三番
御會合に
御會食に
至極御便
利なる
マルトモ書店
マルトモ運動具店
も同様御引立願ひます

小兒下痢一切小兒腸胃散 ● 堀 藥局
平町二丁目
電三三六番

正確な時計
お客様本位の...
好適の眼鏡
平一常盤屋時計店

生んだ兒は

男の責任

不人情な男が

訴訟に負けた

石城郡上遠野村大字上遠野字南町六十四番地上遠野トモ(三)は同村大字上根本字中内百五十五番地渡邊哲(三)を相手取り本年一月六日門傳辨護士に委任し

平支部に私生子認知の訴を提起し被告渡邊も増田、眞木兩辨護士に委任し共に抗争中であつたが去る二十七日平支部に於て午後一時より中島裁判長係り藤原、竹内兩陪席判事、各辨護士列席の上公判開廷、原告の

子供は被告の子供なる事を認知すべしとの判決を言渡され原告の勝訴となつた、事件の内容は大正十五年四月頃兩名が日光見物で落ち合つたのが動機で被告渡邊は連夜の如く原告トモ方を訪れ昭和三年正月中旬頃の或夜夫婦になつてくれと申込んだがトモは

將來の見込がないと思つて拒絶した處若し應諾するときは自轉車を開業し生活の安定を圖ると言葉巧みに説きつけ強いて情交を挑みトモは之を拒み難く終いに私通をなし以來關係が續いて居り昨年正月頃姪

で掛合つても言を左右にして應じないので訴訟になつたのであると

警中の……

授業料滞納

昨年より少い

磐城小學校に於ける今月分の授業料滞納者は左記の如く三十九人にて昨年の同期よりも少いと

一年四人 二年七人 三年五人 四年八人 五年一人

郡下小學校對校

リレー競技

昨年は平第一優勝

石城郡下各小學校對校リレー競技は來る五月五日磐城グラウンドに於て舉行せられるが目下の申込校は左の如くである因に昨年は平第一小學校がタイム二分十分秒で優勝した

- 平第一 平第三 飯野
- 草野 勿來 小名 江名
- 四倉 豊間 好間 内郷
- 高坂 神谷

椎茸栽培

郡南で講習

石城郡農會では左記日割に依り椎茸栽培の講習會を催すと

(二日) 田入 貝泊(三日) 鹽平 石住(四日) 入遠野(六日) 上遠野

等二俵、五等二十六俵、等外五十俵、計七十八俵を入札せる結果四等建値八圓三十六錢を以つて全部平町古鍛冶町の久保木林之助氏に落札した

綴方研究發表

平第二小學校大須賀訓導は來る五月二日全職員に對し綴方教授の研究發表をなし其の批評を受ける

△昨日から景品を山と積んで賣つたが庭園内を鷓の目鷹の目を探し廻り探し當てるはワツと揚がる歡聲が隨所に起り非常な賑ひを見せた

▽平藝妓の手踊も昨日の午後一時半から野外演藝場にて開演、磐城の四季や流行の平小唄等差す手引く手も綾なる藝妓連の踊りに押すな押すなの人だかり、今後も毎日逝く春の名残りに一段の活況を添える筈になつて居る

博覽會便り

△昨日から景品を山と積んで賣つたが庭園内を鷓の目鷹の目を探し廻り探し當てるはワツと揚がる歡聲が隨所に起り非常な賑ひを見せた

▽平藝妓の手踊も昨日の午後一時半から野外演藝場にて開演、磐城の四季や流行の平小唄等差す手引く手も綾なる藝妓連の踊りに押すな押すなの人だかり、今後も毎日逝く春の名残りに一段の活況を添える筈になつて居る

平町人事

回出生

- △一丁目二四 當時仙臺市北町五七 佐藤喜七氏長女良子
- △彌宜町二一 篠原吉男氏二女ツル子
- △搔槌小路三〇 吉畑定次郎氏二男信雄
- △番匠町四〇 野田寅壽氏二女靜子

關西の旅

磐女修學旅行便り

(第一信) 四月二十六日の午前七時五分我等百三十名の喜びをのせた黒き巨體は日本晴の好天氣に恵まれ上野驛に向つた。次々と展開される長閑な春景色「上野々々」と驛夫の呼び聲で一同はあこがれの東京に到着しました。上野公園、發明博覽會、淺草へと見聞するもの、皆驚異の外はありませんでした。此の大東京、踏、如何に生存競争の激しいかをつくつく認識

子供の國の極樂境

佛教徒會と花祭り

石城佛教徒會は本日午後二時より平第三小學校に於いて佛教講演會を開催したが講師は京都智山大學校教授高神覺昇氏であつたが明日は午後一時より同會場にて花祭りの催しとして少年少女大會を開き童話遊戯等あり子供の國の極樂境を出現する

技術員懇親會

郡南各町村に駐在する五十餘名の農業技術員は明日午後一時より植田農學校に於いて懇親會を催すと

できました。次に報知新聞社等を見學し、一同は空腹をかゝいて夜の東京をマルビルに向ひました。その食堂での夕飯に舌つゞみを打ち、後宮城前廣場で一同整列し心より禮拜せし時は夜である故、更に尊嚴に自ら襟を正さしめると共に、日本臣民たる自分を誇らしげに感じました。赤、青、黄等ネオンサインの銀座を散步し午後十時花の帝都に別れをつけ夜行で途中つづがなく、真にすがすがしい朝を迎へて名古屋驛に着きました。之から名古屋城に向ふ所でありました。

(第二信) 二十七日の朝名古屋驛より青バスで、名古屋城に向ひました。時間の都合で野砲兵一中隊に行き、訓練された五百頭以上の馬や砲の整頓されてあることなど、それを見せていたゞくことの出來たのは何よりのことでした。それより名古屋城の雄姿に接し有名な金のシャチホコ、當時の武士の政治、築城術の精巧等々を當時をしのびて感慨深いものでありました。山田の豊受大神、宇治の皇大神宮を拜んでは何ともいはれぬ氣に打たれました。各自の感じを秘めて!!

電車にて二見に向ふ午後四時過ぎ、夫婦岩を拜み二見館に二日の旅の疲れを休めました。

(第三信) 二十八日旅の最初の宿泊が明けるとあゝ無情春の小雨が降つた。あゝ雨かと言ふても天候の

ことは如何ともすがありません、汽車は六時三十二分二見驛を出發し伊勢平野より鈴鹿山脈木沾の爽流を西奈良盆地にむかひましたよていの時刻に小雨をついて古都の名勝地をたづねることに致しました。自動車

の便を受けた現代人では牛につた大宮人の心を察し得ないかもしれせん。五重塔の影美しき猿澤のいけ、朝茅原のなれなれしい新緑はまたと可愛らしいものであります。丹陰の春日神社に頼づき數千の燈籠に驚愕し若草山は何となだらかな曲線美の山でせう雨のため登ることの出來なかつたことを何よりの遺憾にぞんじます。天平時代の彫刻の粹をぞうする二月堂、大佛殿の釣鐘の大に驚いた私達は金堂の大佛ならびに大佛殿をはいして一層驚のまなこを見はるのみでありました

奈良時代の面影をのこしてをる南大門興福寺の五重の塔を見ては一層當時を偲ばれました。

聖武天皇様や御慈愛お深き光明皇后様の御事佛教の興隆、文藝の隆盛と嘗て御さらい致した歴史的事實がそれからそれへと思ひ出されていつまでもこゝにとどまつて思ふぞんぶん詩情をわかしたいと思ひました。汽車にて京都に入り東本願寺にまうで、三日目のつかれを辨慶樓にいやす。時に午後六時夕食後先生につれられて夜の新京極のにぎやかな所を見物致しました。

結核豫防宣傳の獲物

廿圓強盜犯人

飴籤でゴマ化して居た處を

自動車で追跡

廿八日の結核豫防デー宣傳の爲め自動車數臺に分乗した平署員が午後三時頃内郷湯本間の

生れ山田三郎事員等引(三)の兩名と判明したが兩名は三月十三日石城郡飯野村宇谷川瀬地内縣道で飴籤を開

堀坂地内を進行中國道筋にて數名の朝鮮人が飴籤に依つて通行人を騙して

通り合し 豊間村字薄磯の建具職伊藤新次(三)が一本五十圓の籤代を支拂は

居たが警官隊の自動車が出来たのを知つて自轉車で逃走せんとしたのを自動車で追跡二名を取押へ平署にて取調べた處朝鮮慶尙南道蔚山

面小岩里生れ田中政吉事員章得(三)及び同金明郡原面ある見込であると

歸りがけの駄賃に

床の置物失敬

聯合檢閲に出席した

消防手の悪事

石城郡小名濱町定西松永三男(九)假名は過般平町に開かれた平署管内聯合消防檢

石城郡内郷村字高坂合津一(七)は昨廿九日自宅二階にて石炭酸を多量に嚙下し

女が服毒

神経衰弱から

町料理店のんき事古河淺吉方にて遊興の際座敷の床間

見直に應急手當を加へたので生命は取止めたが原因は持病の神経衰弱を悲觀の餘りであると

に置かれてあつた時價十圓餘の虎の置物を窃取し何喰

九日同町警部補派出所に取押られた

放火犯

けふ判決

石城郡好間村大字上野六十二番地上野彌三郎(三)に對する放火事件は去る二十六日平支部に於て公開開廷檢

博覽會の賣店から

萬年筆七十本窃取

密行刑事が追跡逮捕

産業博覽會第一會場内賣店たる南町箕輪剛方の店頭に陳列してあつた萬年筆七十本及びペン先インク等時價

される七人制ラグビー大會に出席する磐中選手は左の如くで必勝を期し目下猛練習中である

熊井幸一 眞根井孝門、會田芳一 志賀亮 片寄正三 三浦正松 萩野勝一 富岡信吾 金子純一 植野勻 五十嵐一行

東北帝大に遠征するラグビー選手

來る五月八日東北帝大主催にて二高グラウンドに於て催

夫に死別して發狂

桐林で首を縊る

石城郡内郷村大字宮字代居住田村郡守山町字湯ノ川生

道場裏桐林にて桐の木に帶を下縊死して居るのを午後七時頃通行人が発見した

夫に死別して以來精神に異常を呈し今朝午前二時頃自宅を拔出し同村字宮澤の弓

義勇號へ寄附 磐城中學校及び平商業學校にて

事より懲役四年求刑された事は既報の如くであるが本日午前十一時半公開開廷中

平商業學校對面友野球は昨日午後二時半より磐中グラウンドに於て行はれたが平商のコンデーション頗るよく

十三對七のスコアにて平商軍快勝した

高久村で招魂碑建設

石城郡高久村在郷軍人分會では去月上旬より工費百七十圓を以つて村出身兵の戦病死者の招魂碑を同村八劍

密嚴教發會式 石城郡平窪村字中平窪の常勝院では來月三日午前十時より密嚴教會の遍照講を開催する事になつたので當日は郡

情婦殺しは懲役十年に

既報信夫郡生れ目下住所不定梅枝末藏(九)が昨年十一月九日石城郡錦村大字大倉木田西治の妻サツ(三)を同村大倉共同墓地に誘ひ出し短刀を持つて殺害したる殺人事件は本日午前十一時中島裁判長より懲役十年を言渡された



明日のラジオ

今晚は北東の風小雨明日は南西の風曇り

今日就ての興味ある事項

勝沼精藏

前二、五〇浪花節 木村友忠

後六、〇〇(子供の時間)

「東西日本早廻り放送」

後六、三〇時事解説

後七、三〇記念講演「立憲政治の機構」總理大臣

犬養毅

後八、〇〇俚諺「アイヌ民話(イヨハイチス)」野本オツ

後八、一〇俚諺「どんたく囃子と博多節」博多相生見番連中

後九、三〇(奉天より)

今晩の部

後六、〇〇(子供の時間) お話「東西日本早廻り放送」

後七、三〇「寄席の夕」芝樂園藏、扇歌、馬樂、可樂、文樂、金馬(奉天より)

後九、四〇「全國ニュース」

明日の部

前九、一〇「榮養料理」鯛と里芋「榮養研究所」

九、三〇(子供の時間) 獨唱と合唱と管絃樂 大橋なほ子外

前二、〇〇「講演」「ミイラに就ての興味ある事項」

平商快勝

遞友と野球

平商業學校對面友野球は昨日午後二時半より磐中グラウンドに於て行はれたが平商のコンデーション頗るよく

十三對七のスコアにて平商軍快勝した

高久村で

招魂碑建設

石城郡高久村在郷軍人分會では去月上旬より工費百七十圓を以つて村出身兵の戦病死者の招魂碑を同村八劍

神社境内に建設したので昨廿九日の天長節を卜して午前十時より盛大な除幕式並に招魂祭を舉行了した

密嚴教發會式 石城郡平窪村字中平窪の常勝院では來月三日午前十時より密嚴教會の遍照講を開催する事になつたので當日は郡

情婦殺しは懲役十年に

情婦殺しは

既報信夫郡生れ目下住所不定梅枝末藏(九)が昨年十一月九日石城郡錦村大字大倉木田西治の妻サツ(三)を同村大倉共同墓地に誘ひ出し短刀を持つて殺害したる殺人事件は本日午前十一時中島裁判長より懲役十年を言渡された

天神様の祭禮

仲間町の張り込み

平町仲間町に鎮座する天神社の祭典は今明兩日行は

下各村の密嚴教徒百餘名が參列發會式を行ふ筈

山神祭

福島炭礦で

石城郡赤井村福島炭礦の山神祭は五月五日午前十時より礦務所前境内にて行はれ全従業員は運動會や芝居等が催される筈

平職業紹介所報告

求人 十八位 尋卒 給料面談(平町某醫院) 農夫 三十以下 委細面談(江名町某)

求職の部

見守 十三才 尋五修 給料面談(内郷村某) 藥局生 二十二才 中四 修給料面談(好開村某)

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

【第卅八席】 眞庭念流達人櫻井五助

柳原騒動の原因

逸見多四郎に敵討の原因を尋ねられて村上周一郎が周「これは逸見先生にごぞるか伯父主殿はこれなる櫻井五助の爲に横死いたしましたその次第をお話申すどうぞお聞き取り下さい」

多「イヤ暫くお待ちあれ櫻井殿よりも其事情を承るであらう、貴殿の申す事のみ聞くことはなるまい、お疑ひ申す次第ではござらぬが櫻井殿の申す事も一應は聞かねばならぬ」悠ういはれては櫻井の云ふ事を聞くには及ぶまいとは申されぬ、そこで多四郎は櫻井五助に向ひ其の事情を問ふ猶其時には秋山要介もこの相撲場に逸見と興に來てゐた事とて立會人となつた、それは村上周一郎の世話をいたし居る小川の庄兵衛又櫻井五助を用心棒にして置く虎五郎も此事に立會ふ、相撲見物に來た者は是れから何うなるかと此人々の周圍を取巻いて耳を聳たてゝおますところまで村上周一郎は五助を伯父の敵だと思ひ居るか、何故周一郎の伯父主殿が五助の爲に横死いたしましたか、これは一場の事で

ございませうが二人に代つて演者よりお話をいたします村上も櫻井も越後高田の城主柳原式部大輔に仕へる見柳原家は十五萬石を領して居る其前は播州姫路の城主でした高田に來は當時の殿様より三代前の柳原式部太

だつたと書いた物もありませう何にしても吉原の遊女で高尾と云へば子供まで知つてゐるほど大層名を賣りましたどういふものか高尾は大名に崇ります尤も華魁になればこれに酌を取らして盃を擧げることは出来ない其揚取金は銀五十匁金に直すと一兩二歩一兩の小判は純金四匁あつて、二歩は二匁合して六匁今日の金相場にするると一匁五匁と見て三十圓これは揚代金其他入費もかゝります華魁を買つて遊ぶには海苔巻の鮓やお酒を飲む譯には參りませぬ、酒食の費用に藝妓や幫間も



輔政峰と云ふ方が吉原京町一丁目三浦屋四郎左衛門の抱へ高尾と申す遊女を受出して下谷池の端の下邸に置いて大層愛した此時の高尾は伊達綱宗侯に想はれた初代高尾より十代目綱宗侯の愛したは山本屋の抱女薫に

呼ぶ先づ昔の會で一夜百兩はかゝるさうでそれでは有産階級ならすば通ふことは出来ませぬまい柳原侯は高尾の色に溺れて二千兩の黒金を積んで根引をした安永年間の川柳に『お物見で遊を見てゐる果者』といふ惡

口がある、これは柳原侯の側妾になつた高尾は池の端の下邸に居りましたから定めし物見から多くの女中と興に不忍の蓮を見てゐるだらうとそれでこんな惡口も出來たものだと柳原侯は遊女を愛したといふ處から其不行跡を咎められ播州の姫路より越後高田に移された大名の國替は三年の不作と云ふ事もある、それほど入費がかゝりました姫路から高田まで柳原侯の家來は引越をいたさねばならぬ、その費用は主人より石高に應じて出すが、是れが莫大震災の時に演者は深川の古巢を焼かれて一時千駄ヶ谷に下宿したしそれから瀧野川に移轉した其當時諸道具は灰になつたにも拘らず乳母車に二杯の荷があつたそれから見ると堂々たる大名の引越馬力に何臺持つて行つたかそれまでは判りませぬ何にしても頗る苦痛其上高田領は十五萬石はあれど二萬石不足してゐる、姫路に居た時は二十萬石から上つてそれゆゑ一層生活が苦しいこれを勘定方の遠藤仁右衛門といふ者が非常に苦心して家政を立て直して収入を増し儉約をして舊儀を返し大いに柳原家に盡しました其功に依つて勘定奉行に昇進して元高二千石に八十石の加増で百石大層羽振も宜しくなつた此人から三代目の仁右衛門は近侍頭を勤めてゐた今の殿様も仁右衛門の祖父の功を思つて特別の待遇を興へたところ

が同じ近侍頭で村上主殿は此仁右衛門の寵あるを嫉み事毎に意見を異にする是が騒動の原因

内小兒科・花柳病科
藤沼醫院
入院應需
平電 町屋紺 七〇五番
電話

美味!
芳醇!
宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

玉屋洋品店
平町田町通電話六五六番

サロンの
多クタクシー

東京市本郷駒込追分町
(茶代不用) 上野驛ヨリ(自動車約五分
電車約十五分)

多クタクシー
電話(小石川)三一六五番

一金一圓泊八十錢(食附但シニ食)

貸切は●●●

セダン揃ひで
貸切専門の
昭和タクシー
電話三四三三